

第5章 地域を支えるしくみづくり【ともにとりくむ】

第1節 地域（圏域）に合わせた取組を進めましょう

現在、市内には小学校区を基本単位に、26地区で地区福祉推進会が組織され、地域の特性を生かしたさまざまな活動を展開しています。活動目標は「だれもが安心して暮らせる福祉のまちづくり」であり、住民主体による身近な地域での支えあい、助け合い活動に取り組んでいます。

地区福祉推進会の構成も地域においてさまざまですが、地域福祉をともに進める大切なパートナーであり、これからも、高齢者や障害のある人やその家族等が、住み慣れた地域で安心して暮らせるようさまざまな事業を行っていきます。

また、本計画の策定に当たり、各地区では、地区福祉推進会を中心に、町内会、民生委員児童委員協議会、地域のボランティアなど、各種団体による「地域懇談会」を開催し、さまざまな意見や提案をいただきました。これらの意見を基に、各地区の今後5年間の福祉活動の指針を取りまとめ、地域とともに地域福祉の推進に積極的に取り組んでいきます。



鷹岡三世代交流まゆ玉づくり

5-① 地区福祉推進会の強化充実

【現 状】 地区福祉推進会は市内の26地区で組織され「だれもが安心して暮らせる福祉のまちづくり」を目的とし、地域の実情に合わせたさまざまな福祉活動を地域住民が主体となり取り組んでいます。

〈目標〉 地域のさまざまな関係機関や団体と連携を図り、より主体的な地域福祉活動の推進役として機能することを目指します。

- 《取組》・地区福祉推進会連絡会の強化充実
- ・地区福祉推進会連絡会のブロックを地域包括圏域に変更
 - ・地域福祉を担うリーダー養成さらには協力者の発掘及び育成
 - ・事業についてのアンケート等による住民ニーズの把握
 - ・地域福祉活動計画に沿った事業計画の策定
 - ・活動助成金の検討

取 組	28年	29年	30年	31年	32年
連絡会の強化充実	検 討		実 施		
ブロック変更	見直し検討	ブロック変更	新たなブロック単位での講演会、情報交換の実施		
リーダー等の育成	育成プログラム内容検討		各地区で段階的に導入		
ニーズ把握	調査・検討		見直し検討	調査・実施	
活動計画に沿った計画策定	各推進会ごと具体的な取組を実施				
助成金の検討	見直し検討		実 施		